

表紙, 目次, 奥付等

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-03-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 掛川市健康福祉部保健予防課, 掛川市吉岡彌生記念館, 東京女子医科大学看護学部 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/00031841

掛川市健康調査報告書

平成 27 年度

平成 28 年 3 月

掛川市健康福祉部保健予防課

掛川市吉岡彌生記念館

東京女子医科大学看護学部

掛川市健康調査報告書

平成 27 年度

平成 28 年 3 月

掛川市健康福祉部保健予防課

掛川市吉岡彌生記念館

東京女子医科大学看護学部

あいさつ

掛川市吉岡彌生記念館
館長 高山幹子

吉岡彌生記念館の設立の翌年、平成 11 年から MONAC (Museum of Nursing and Care) は東京女子医科大学看護学部の MONAC 企画委員会の下で、掛川市民の医療と看護に関する健康づくりを目的に途切れることなく広報してきました。平成 27 年には掛川市の施政方針として「健康・子育て」日本一が謳われています。この目標に向かって時代に即したテーマで貴重なアンケートによる調査が行われ、平成 27 年度も報告書が発行されます。

平成 27 年度の健康調査助成の公募を行い以下の 2 題が採択され、有意義な興味深い結果を得ることができました。

「掛川市の医療機関利用者の受診に関する意識調査」では、かかりつけ医制度に関しては 9 割弱でかかりつけ医を持っており、70 歳以上の高齢者では 9 割以上がかかりつけ医を持っていました。この結果は全国・県内のものと比較して高い割合を示しています。ちなみに国では平成 28 年 4 月から保険診療費の改訂が行われ、小児科など、地域における「かかりつけ医」の普及を推進しています。また夜間・休日の受診については受診の必要性の判断が難しいことが示唆され、療養に関しては自宅での療養には相談を行うことによって不安の解消につなげる必要性が見えます。

「3 歳児を養育する保護者と子どもの受診行動の現状と困難について」では、3 歳児を養育する保護者自身は 9 割以上が健康に関心があるものの、体調の不良時には 4 割以上が病院や診療所を受診していませんでした。子どもの受診の有無については、保護者の仕事の有無や子どものケアをする人によって有意に差がみられました。少子化・核家族化から生じる育児・病気など、保護者の不安を掘り起こすことに役立つ報告です。

以上のように両報告ともご協力をいただいた市民の皆様への謝辞が述べられています。常に市民生活に密着したテーマが取り上げられ、詳細なアンケートの結果をまとめて作成された報告書は貴重なものとなっています。これらの成果は掛川市の各地区に掲示版として回覧されるとともに掛川市健康調査報告書として冊子にまとめられ、多くの関連施設に納められています。さらにパネルを作成し掛川市吉岡彌生記念館の「看護とケア」の展示室に公開され、また広く知っていただけるよう東京女子医科大学のリポジトリーにも登録されています。これらにより時には市民の皆様で互いに問題点を共有しつつ不安の解消に役立つことを願っています。

はしがき

東京女子医科大学看護学部
MONAC 企画委員会
平成 27 年度委員長 守屋治代

今年度の調査が滞りなく終了しましたことをご報告致します。

今年度の調査にあたり、小笠医師会様、特に掛川市内で開業されている各医院長の皆様方、掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター様、特に看護部の皆様、掛川市地域医療推進課・保健予防課の皆様に多大なるご理解とご高配をいただくことができました。この場を借りて、御礼申し上げます。

今年度は、以下の 2 題が報告されました。

1. 掛川市内の医療機関利用者の受診に関する意識調査
2. 3 歳児を養育する保護者と子どもの受診行動の現状と困難について

2 題ともに、医療機関への受診に関する調査となりました。一次医療機関と二次医療機関の住民による意識的な使い分け、在宅で最期まで生活するための支援、受診を決定する判断に至るまでの何らかの相談や支援の必要性などが報告されています。

特に、保護者世代の生活体験の不足や生活環境の変化が、子どもの健康に大きく影響していくことから、保護者世代を地域でいかに支えていくことができるかが、今後の重要な課題であることが示唆されております。

また、今年度から公募規定を改訂したことにより、掛川市の市民活動団体である「f. a. n. 地域医療を育む会」の皆様と大学教員との協働調査活動が実施されました。健康・医療・看護・福祉に関する掛川市民の皆様の活動がさらに活発になるよう、引き続き貢献できれば幸いです。

今後とも関係者の皆様のご理解・ご指導をよろしくお願い申し上げます。

研究者名簿（50 音順）

稲野辺奈緒子	（東京女子医科大学看護学部）
櫻田 章子	（東京女子医科大学看護学部）
佐々木 英世	（f. a. n. 地域医療を育む会）
武田 和子	（f. a. n. 地域医療を育む会）
林 由佳	（東京女子医科大学看護学部）
村松 篤	（f. a. n. 地域医療を育む会）
松本 敬枝	（f. a. n. 地域医療を育む会）
三浦 美奈子	（東京女子医科大学看護学部）
守屋 治代	（東京女子医科大学看護学部）

調査協力者

掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター
小笠医師会 掛川市内各医療機関
掛川市地域医療推進課
掛川市健康福祉部 保健予防課・母子保健係 一同

事務局名簿

栞原 信雪	（掛川市吉岡彌生記念館）
水野 茉那美	（ 同 上 ）
伊藤 由李名	（ 同 上 ）

— 目次 —

吉岡彌生記念館館長あいさつ

はしがき

研究者名簿

報告

I. 掛川市の医療機関利用者の受診に関する意識調査

林由佳, 稲野辺奈緒子, 守屋治代, 武田和子,
村松篤, 佐々木英世, 松本敬枝…………… 1

II. 3歳児を養育する保護者と子どもの受診行動の現状と困難について

櫻田章子, 三浦美奈子…………… 1 1

資料（調査用紙）

掛川市健康調査報告書（平成 27 年度）

発行責任者 守屋 治代

発 行 東京都新宿区河田町 8-1

東京女子医科大学看護学部

MONAC 企画委員会

守屋 治代 飯塚あつ子

稲野辺奈緒子 成澤 明

Tel 03-3357-4804（代）